



炬火を掲げていざ謳う

No.62



# 我々の泉鳥取

2023年10月30日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 学校を一から見直そう

### —第14期中教審答申から新カリキュラム 1994年度—

学校が用意する教育課程（カリキュラム）とは、どのような教科科目を週に何時間おこなうか？時間割のもととなるものです。このカリキュラムの基礎となるのが、文部科学省が定める『高等学校学習指導要領』で、おおよそ10年に1回改訂されます。とりわけ平成に入ってから最初の改訂は劇的で、高校教育を見直す大きなきっかけとなりました。

1991（平成3）年に出された中央教育審議会（中教審）第14期答申「新しい時代に対応する教育の諸制度の改革」では、これまで文部省（当時）も認めていなかった高等学校の学校間格差を初めて認め、多様な学習、そして学力の概念の変更（新学力観）が提言されたのです。さらに学校教育と社会教育の連携「生涯学習」という概念が提唱されました。

泉鳥取高校でも、1994（平成6）年度に向けたカリキュラム検討が1991（平成3）年度より始まりました。第14期答申に呼応するかのように、この学校の教育を一から見直し、「何が足りないのか？何が必要か？」を教職員全体で議論しました。『泉鳥取の教育』という一連の校内新聞が発行され、教科横断的な小グループの話合いが行われていきました。

#### 進路意欲を早期に持ち 早期離職を防ぐ

この間の詳細は創立20周年記念誌の岡村多加志先生の

文章に詳しく書かれていますが、この時の改編は、「進路意識の早期醸成」をテーマにしたものになりました。そのほかには「知的好奇心の充足」などもありましたが、教育課程表としては、2年生から就職・進学を選択科目を変える「類型」別展開としたのです。

それまでは3年生で就職、進学、看護を含めた進学クラスにクラス分けしていたのですが、このクラス編成はそのままに、新たに2年生で、社会に出る人のための商業科目「文書処理」を設定、進学希望者に受検学力確保のための国語・数学・英語の選択を入れ、就職・進学を類型別科目選択にしたのです。進路に対する意識を早く持たせ、就職卒業生の早期離職や進学者の学力不足を補うことを狙いました。ただ、「学校設定教科」の設定の制約が大きく、普通科で商業科目を展開することくらいしかできませんでした。しかしながら、泉鳥取の在校生の学習状況などを一から見つめ直した取組みとなりました。

## 教育課程

2 学年より進路志望による類型選択

単位数	0	5	10	15	20	25	30	(単位)
1年		国語 I	日本史 B 地理 B	数学 I	化学 IB 地学 IA	英語 I	保健 体育	家庭 芸術 I HR クラブ
2年	I	国語 II	日本史 B 世界史 B	数学 II	物理 IB 生物 IA	英語 II コミュニケーション	保健 体育	家庭 芸術 II 選択 HR クラブ
	II	国語 II	日本史 B 世界史 B	数学 II	物理 IB 生物 IA	英語 II コミュニケーション	保健 体育	家庭 芸術 II 選択 HR クラブ
3年	I	現代文	世界史 B 現代社会 B	数学 B	理科 (選択)	英語 II 英語演習	体育	選択 1 選択 2 HR クラブ
	II	現代文	世界史 B 現代社会 B	数学 B	理科 (選択)	英語 II 英語演習	体育	選択 1 選択 2 HR クラブ

(注：平成6年度入学生より実施)

1993年学校紹介リーフレットから



LANシステム